

フォーラム「流域をまもり、都市をつくる」名古屋工業大学で開催

－国土交通省中部地方整備局と国立大学法人名古屋工業大学のコラボレーション－

- 中部地方整備局と名古屋工業大学の庄内川流域圏における連携の取り組み、成果を紹介するとともに、「都市で生きる私たちの生活と河川との関わり合い」～減災・防災、環境、コミュニケーションの観点から～と題して、パネルディスカッションを実施

フォーラム概要



定員150名を越える161名が来場

日時 平成25年6月15日(土) 14:00-17:00
会場 名古屋工業大学 講堂2階 講堂会議室

開会挨拶 高橋 実(名古屋工業大学長)

第1部 庄内川流域圏での取り組み

宮本 健也(中部地方整備局庄内川河川事務所長)
藤田 素弘(名古屋工業大学大学院教授)
前田 健一(名古屋工業大学大学院教授)
増田 理子(名古屋工業大学大学院准教授)
秀島 栄三(名古屋工業大学大学院教授)

第2部 パネルディスカッション

“都市で生きる私たちの生活と河川との関わり合い
～減災・防災、環境、コミュニケーションの観点から～”

コーディネータ

富永 晃宏(名古屋工業大学大学院教授)

パネリスト

浅野 和広(中部地方整備局木曾川上流河川事務所長)
伊藤 孝行(名古屋工業大学大学院准教授)
関口 威人(ジャーナリスト・Risa編集長)
田村 秀夫(中部地方整備局企画部長)

閉会挨拶 梅山 和成(中部地方整備局長)

中部地方整備局:パネル提示
中部地域づくり協会:ビデオ上映



名古屋工業大学高橋学長の開会挨拶



中部地方整備局梅山局長の閉会挨拶

フォーラム「流域をまもり、都市をつくる」名古屋工業大学で開催

－国土交通省中部地方整備局と国立大学法人名古屋工業大学のコラボレーション－

第1部 庄内川流域圏での取り組み



宮本庄内川河川事務所長
[河川管理の実務と展開](#)



藤田教授
[災害時の帰宅交通困難と対策](#)



前田教授
[豪雨時の河川堤防の応答と見える化](#)



増田准教授
[河川内ビオトープに侵入する外来種の実態](#)



秀島教授
[名駅地区の水防災とインフラ](#)

発表資料は、各発表者の
表題をクリックすることで、
ダウンロードすることが
できます

フォーラム「流域をまもり、都市をつくる」名古屋工業大学で開催

－国土交通省中部地方整備局と国立大学法人名古屋工業大学のコラボレーション－

第2部 パネルディスカッション



田村企画部長



浅野事務所長



関口Risa編集長



伊藤准教授



富永教授

- パネルディスカッションでは、フォーラムのテーマ「流域をまもり、都市をつくる」にあたっては、整備局と大学の連携だけでなく、市民の皆様との連携が不可欠との討議結果
- 整備局と大学は、今回のようなフォーラム等の場を通じ、市民の皆様への情報提供に努め、官・学・民の連携強化を推進

フォーラム「流域をまもり、都市をつくる」名古屋工業大学で開催

－国土交通省中部地方整備局と国立大学法人名古屋工業大学のコラボレーション－



中部地方整備局
災害への備えに関するパネル展示



(一社)中部地域づくり協会
「迫りくる南海トラフ巨大地震に備えて」上映

参加者の声(参加者アンケートより)

- 大学と整備局がどんなことを行っているか、市民向けに解りやすく伝える機会を増やして欲しい
- 災害に対する備えとして、ハードとソフト両面の整備が重要であり、本フォーラムのように、市民に情報を伝えることが重要だと思う
- 河川に対する関心をもっと持ってもらえるような取り組みをしてほしい
- 河川全体の整備とは別に、地域住民の意見に沿ったより良い河川環境を整備してほしい
- 縦割りではなく横の連携という意味で、このような取り組みが今後も行われていくと良いと思います